

chromID S.aureus (SAID)

chromID S.aureus agar (SAID)

ブドウ球菌の選択分離と *S.aureus* の直接鑑別用色素産生培地

用途

chromID S. aureus は、ヒト検体からのブドウ球菌の選択分離と *S.aureus* の鑑別用色素産生培地です。

原理

chromID S. aureus は異なる種類のペプトンを組み合わせた豊富な栄養培地を基礎としています。また、2種類の発色基質を含んでおり、以下が可能です：

- 全てのブドウ球菌の発育。
- 特異的酵素活性の検出(特許出願中)による混合培養からの鑑別(3, 4)。

S.aureus の直接鑑別は、 α -グルコシダーゼを産生するコロニーの発色(緑色コロニー)を基にしています。

もう一つの基質により、特異的酵素活性を示すその他のブドウ球菌から鑑別します(ピンク色またはふじ色コロニー)。いずれの基質も利用しないブドウ球菌は白色コロニーを形成します。

抗生物質ミクスチャーは *Staphylococcus* 属以外のほとんどの細菌と真菌の発育を抑制します。

キット構成

調整済み培地	
REF 43371	平板培地 SAID*
10枚(90mm) × 2パック	

*各シャーレに印字

組成

精製水中の組成(g/l)

植物性ペプトン、動物性ペプトン(豚または牛).....	20.1
トリス.....	0.65
発色基質ミクスチャー.....	0.53
抗生物質ミクスチャー.....	4.1
寒天.....	14
pH7.3	

必要な器材

- ふ卵器

使用上の注意

- **in vitro** 試験にのみご使用下さい。
- **熟練者**がご使用下さい。
- 本培地は動物由来の原料を含みます。由来に関する知識、由来動物の衛生状態は感染性的のある病原体がないことを保証するものではありません。これらは潜在的に感染の可能性のあるものとして、充分注意の上お取り扱い下さい(摂取または吸入しないで下さい)。
- 全ての検体、微生物培地、検体を接種した製品は感染性があるものとして適切にお取り扱い下さい。試験に用いる細菌グループの無菌操作と通常操作の留意事項は以下のガイドラインに基づき行って下さい。**安全ガイドライン**：CLSI/NCCLS M-29A, «Protection of Laboratory Workers from instrument Biohazards and Infectious Disease Transmitted by Blood, Body Fluids, and Tissue, Approved Guideline – Current Revision»**操作留意事項**：Biosafety in Microbiological and Biomedical Laboratories -

CDC/NIH - Latest edition、または各国の規制ガイドラインに従って下さい。

- 本培地を製造原料として使用しないで下さい。
- 本培地を光に暴露しないで下さい。
- 有効期限切れの製品は使用しないで下さい。
- パッケージの損傷した製品は使用しないで下さい。
- コンタミネーションの起きている培地または水分の浸出している培地は使用しないで下さい。
- 試験結果の解釈には、患者背景、検体の由来、コロニー形態および顕微鏡による観察結果を考慮して下さい。また必要に応じて、その他の方法で結果を確認して下さい。
- 性能は、この添付文書に従った使用方法にて得られた結果を示しています。操作方法を変更すると結果に影響を及ぼすことがあります。

貯蔵条件

- **箱未開封の状態**で、2-8℃下で有効期限まで保管可能です。
- 箱開封後セロファン袋中では、2-8℃、**暗所**で2週間保管可能です。

検体

あらゆる検体を直接培地に接種して使用することができます(4)。

採取や輸送に関しては GLP(Good Laboratory Practices)に準拠し、検体の種別によって適切に処理して下さい。

使用法

検体塗布と結果読み取りを行う場合を除き、この培地を光に暴露しないで下さい。

1. 暗所で培地を室温に戻します。
2. 検体を直接培地上に接種します。
3. フタを下側にして 37℃、好気環境の暗所で直ちに培養して下さい。用途に応じて、最新の標準法を参照し適切な温度で培養して下さい。通常 18~24 時間培養後に結果の読み取りを行います。

判定

- 培養後、微生物の発育とコロニーを観察します：*S.aureus* は緑色のコロニーを形成します。
- 注意：寒天培地を通してコロニーを観察すると、さらに鮮やかな色となります(プレートを逆さにした時)。
- 緑色以外のコロニー(白色、ピンクまたはふじ色コロニー)の同定は、生化学性状試験もしくは免疫学的試験を用いて行って下さい。

品質管理

プロトコール:

本培地の発育支持能は、下記の標準菌株を用いて試験を行います。

- *Staphylococcus aureus* ATCC 25923
- *Staphylococcus xylosum* ATCC 29971

精度管理限界値:

使用菌株	33-37 での試験結果	
<i>Staphylococcus aureus</i> ATCC 25923	24 時間以内に発育	緑色コロニー
<i>Staphylococcus xylosus</i> ATCC 29971		緑色以外のコロニー

注意:

培地の用途を考慮し、適切な規制(頻度、菌株数、培養温度)に従って品質管理を実施されることをお勧めします。

留意事項

- *S. aureus* 以外のある種のコアグラゼ陽性ブドウ球菌が緑色のコロニーを形成することがあります。
- *S. aureus* 以外のある種の株 (*S. saprophyticus*、*S. haemolyticus*、*S. warneri*、*Micrococcus*) が緑色のコロニーを形成することがあります(1, 2)。
- *S. aureus* と形態的に異なるいくつかの菌種 (*Enterococcus*、*Streptococcus*、*Stomatococcus*、*Candida*) が緑色の小さなコロニーを形成することがあります。
- さらに 24 時間の培養が必要な場合があります。その場合、緑色のコロニーは追加試験により同定して下さい。
- *S. aureus* のある種の株で、48 時間培養後にコロニーの色が緑色から紫色 / 灰色に変化することがあります。
- 発育の度合いは微生物各個体の要求性に左右されます。従って、特殊な要求性をもつブドウ球菌のある種の株は発育しないまたは緑色のコロニーを形成しないことがあります。
- 使用上の注意に従わず使用した(光に暴露した)場合、*S. aureus* のコロニーの色が欠失したり、ある種の株の発育が抑制されることがあります。
- 光に暴露した未使用培地は廃棄して下さい。
- 試験に用いる検体によっては、chromID S. aureus と非選択培地(コロンプア 5%ヒツジ血液寒天培地等)との併用を推奨します。

性能

chromID S. aureus は 514 件のヒト由来検体(血液培養、尿、便、鼻腔スワブ、膿、ENT(目・鼻・咽頭)、生殖器検体等)を用いて他の色素産生培地と比較されました。

性能は 35 ~ 37 下で 24 時間培養後、評価されました。

- chromID S. aureus では、365 検体においてブドウ球菌陽性となりました。

発育支持能と *S. aureus* の検出感度

試験された 514 検体中、129 検体が少なくとも一つの培地上で *S. aureus* 陽性となりました(同定確認済み)。

	SAID	他の培地
<i>S. aureus</i> の発育支持能	128/129 (99%)	115/129 (89%)
<i>S. aureus</i> の検出感度	127/129 (98%)	114/129 (88%)

発色特異度

各培地上で観察された特徴的コロニー(SAID 上の緑色コロニー 136 個と、他の培地上のピンクコロニー 118 個)のうち、*S. aureus* と同定された割合は以下のとおりです:

	SAID	他の培地
発色特異度	127/136 (93%)	114/118 (97%)







廃棄処理

使用済みもしくは使用していない試薬の廃棄は他の汚染した廃棄材料と同様、感染性もしくは感染の危険のある製品の取り扱い方法に従って行って下さい。起こりうる危険を適切に考慮の上、各検査室の責任の元、廃棄産物や流出物はそれぞれの危害毒性や度合いを考慮し、地域の適切な規制に従って廃棄して下さい。

参考文献

1. KAWAMURA Y., HOU X.G., SULTANA F. and al. – Distribution of *Staphylococcus* Species among human clinical specimens and emended description of *Staphylococcus caprae*. – *J. Clin. Microbiol.*, 1998, vol. 36, n° 7, p. 2038-2042.
2. ROBICHON D., COTTE C., FANJAT N. and al. – Isolation of Staphylococci and identification of *Staphylococcus aureus*: Performance of a new chromogenic medium: S. aureus ID. Session n°029/C, Poster C-23 – American Society for Microbiology – 102nd General Meeting, Salt Lake City, Utah, May 19-23, 2002.
3. COTTE C., FANJAT N., ORENGA S. and al. – S. aureus ID: A new chromogenic medium for the isolation of staphylococci and identification of *Staphylococcus aureus*. Poster 929, Glasgow 2003, 13th ECCMID.
4. NICHOLSON A., PERRY J.D., BUTTERWORTH L.A. and al. – Evaluation of S. aureus ID: a new chromogenic agar for the isolation and identification of *Staphylococcus aureus*. Poster 748, Glasgow 2003, 13th ECCMID.

記号

記号	内容
REF	品番
	製造元
	保管温度
	有効期限
LOT	ロット番号
	遮光保存
	使用手順を参照
	試験可能数

(問い合わせ先)

製品関連

シスメックス株式会社 CS センター

臨床(病院、臨床検査センターなど) TEL: 0120-265-034

産業(企業、保健所など) TEL: 0120-022-328

注文・納期・在庫関連

シスメックス・ビオメリュー株式会社

TEL: 03-6834-2666(代表)



シスメックス・ビオメリュー株式会社

東京都品川区大崎一丁目2番2号

大崎セントラルタワー8階



bioMérieux sa

69280 Marcy-l'Etoile/France

Tel.33(0)4 78 87 20 00 /

Fax33(0)4 78 87 20 90

<http://www.biomerieux.com>



The logo is a registered and protected trademark of bioMérieux sa or one of its subsidiaries.